スコアシート

大会名 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日　時 ＿＿＿＿＿＿＿＿

会　場 ＿＿＿＿＿＿＿＿

		–	
		–	
		–	
	( )		( )

団体戦　第（　）S

個人戦　シングルス

性　別　男子　女子

試合番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿

コート番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿

審　判 ＿＿＿＿＿＿＿＿

試合開始時刻	試合終了時刻
:	:

試合時間	シャトル数
分	個

勝者署名: ＿＿＿＿＿＿＿＿　主審署名: ＿＿＿＿＿＿＿＿　レフェリー署名: ＿＿＿＿＿＿＿＿

神奈川県高体連バドミントン専門部

（凡例）W：警告　F：ﾌｫﾙﾄ　D：失格　S：中断　I：ケガ　R：棄権　レ：ﾚﾌｪﾘｰ

スコアシート

大会名 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日　時 ＿＿＿＿＿＿＿＿

会　場 ＿＿＿＿＿＿＿＿

（　　）			（　　）

－
－
－

団体戦　第（　）D
個人戦　ダブルス
性　別　男子　女子
試合番号
コート番号
審　判

試合開始時刻	試合終了時刻
：	：

試合時間	シャトル数
分	個

勝者署名：＿＿＿＿＿＿＿＿　主審署名：＿＿＿＿＿＿＿＿　レフェリー署名：＿＿＿＿＿＿＿＿

神奈川県高体連バドミントン専門部

（凡例）W：警告　F：ﾌｫﾙﾄ　D：失格　S：中断　I：ケガ　R：棄権　レ：ﾚﾌｪﾘｰ

スコアシート

① L(左)orR(右)を記入

大会名称：THOMAS CUP
試合番号：SemiFinal 2-2
コート番号：1
日付：2006/5/5
予定開始時刻：17:00

事前に印刷されています

L	マーチン・ルンドガード・ハンセン イエンス・エリクセン	1	17-21 30-28 6-21	2	クー・ケンケット チャン・チョンミン	R

（デンマーク）　1st Doubles　（マレーシア）

団体戦種目が印刷されます

開始時刻：17:58
終了時刻：19:09
試合時間：71
シャトル数：20
主審：Girish Natu
サービスジャッジ：Diraj Gooneadry

② ⑨ 各欄に記入

⑧ 結果を記入

マーチン・ルンドガード・ハンセン															5				7					10							12		14
イエンス・エリクセン	S	0	1	2						4						6				8	9						11						
クー・ケンケット	R	0						3	4					7					9						11	12							
チャン・チョンミン					1	2					5	6					8					10					13	14	15				
15																																	17
					16		1																										
																																	21
								W		20	21																						

③ S (サーバー) R (レシーバー) を記入

④ 両サイドに0を記入

⑦ ゲームスコアを記入

⑤ スコアはサーバーの行に記入する

マーチン・ルンドガード・ハンセン							1				3	4														12				14			
イエンス・エリクセン	R	0			2								5									10	11				13					15	
クー・ケンケット	S	0				2								4	5	6	7								10				12				
チャン・チョンミン				1						3										9							11				13	14	
		16							19	20						23				25				27									30
						17	18							22				24				26		W			28	29	30				
15	16				レ			19	20										26														28
			17	18	F								21								25				27	28							

⑥ 20オール時に斜線を記入

マーチン・ルンドガード・ハンセン												3							5										F				
イエンス・エリクセン	S	0	1	2										4												6							
クー・ケンケット	R	0								4	5									10	11	12	13	14	15	16							
チャン・チョンミン					1	2	3						6				9										17	18		19	20	21	
																																	6
																																	21

警告等の内容を記入

W - Warning for misconduct to Jens Eriksen for delaying the game

F. Fault to Lee for doing the shuttle on line call.

F. Fault for misconduct to Chan for fighting & shouting at the net looking at opponent

勝者署名：

⑩ 勝者サインをもらう

主審署名：

⑪ 主審がサインする

レフェリー署名：

(財)日本バドミントン協会

（凡例）W：警告　F：ﾌｫﾙﾄ　D：失格　S：中断　I：ケガ　R：棄権　レ：ﾚﾌｪﾘｰ

ラリーポイントのスコアシート記入方法

（浅見案）

主審にとって、「サービスを誰がどちらから行い、レシーバーは誰か」が明確になるものとする。

・サーバー側が得点した場合は同一プレーヤーが左右を入れ替わりながらサービスを続ける。
・サーブ権を得た場合は前回のサーバーと異なるプレーヤーがサービスを行う。
・サービスの位置は自得点が偶数なら右、奇数なら左からとなる。
・レシーバーは前回のサービス時の位置で対応する。（相手の得点が偶数なら右、奇数なら左のプレーヤー）
・審判はポイントと各サイドの前回サーバーをきちんと把握することが重要となります。

吉田　純	R	0									4	5																			
田中　正美							1	2	3									6													
森　浩美										5																					
小泉　翔	S	0	1	2	3	4							6	7	8	9	10														

トスのあとサーバー(S)、レシーバー(R)を記す

サーバーとレシーバーの段に0を記入

サーバー側が得点したのでサーバーの段に＋1
以降、連続得点を同じ段に記入

レシーバー側が得点したので前回のサーバーと異なるプレーヤーの段に＋1
(ゲーム開始時は最初のレシーバーと異なるプレーヤー)
サーバー：田中 (奇数なので左から)
レシーバー：森 (前回サービス時に左)

前回、小泉が自得点4で右からサービスを行っていたので左に居たのは森となる

レシーバー側が得点したので前回のサーバーと異なるプレーヤーの段に＋1
サーバー：田中 (偶数なので右から)
レシーバー：小泉 (前回サービス時に右)

サービスはサーブ権が来たときに前回のサーバーと異なるプレーヤーが自得点が偶数なら右、奇数なら左から行う

レシーブは前回サービス時の位置により相手サーバーに対応するプレーヤーが行う

・シングルスの場合、各サイドを１段にしたものを用いるが、上記例の２段のものを利用しても良い。その場合は上の段のみ記入するものとする。